

針葉樹合板再生家具について（現在ラージ合板主体）

最近になってラージ合板のほかに国産材の見直しもあり、桧の合板が増えて来ました。そこで、総称として針葉樹合板としました。

当社マルダイのプレカット工場において床下地合板 t24ort28 の端材が発生いたします。そこで、この端材の再利用として平行柄のカウンター材、ダイニングテーブル、リビングテーブル、チェア一等を受注生産しています。

1. 平行合板柄家具

平行柄天板のサイズの限界があります。

- 1) 長さは、2000*1000 パネルで 1980 程度、1820*910 パネルで 1800 程度が一杯です。
- 2) 幅は、協力工場の横型プレスとワイドサンダーの性能上、950 程度が一杯です。
- 3) 板厚は横型プレスの性能上、板厚 50mm 程度です。

これ以上、板厚がありますと運搬、配送においてかなり大変かと思えます。

大体、40mm の注文がほとんどです。また、あまり薄いのも接着面が小さくなりますので問題があります。

平行合板柄天板加工順序

- 1) 天板指定厚に合板をカットします。幅 900 ならば合板 t28 * 32 枚 = 896 位となりますので 32 枚カットします。幅寸法は多少誤差があります。
- 2) 横型プレス上にカットした合板の切断面を上 に注文幅まで接着しながら並べます。そしてプレスして 1 日接着養生致します。接着剤は酢酸ビニルを使用しています。
- 3) 表面の抜け節、欠け節等をウッドパテにて穴埋め致します。
- 4) ワイドサンダーにて表裏面を平坦に仕上げます。
- 5) 裏側に t5 シナ合板を貼り付けます。これは、カットした合板の接着面以外の合板自体のパンク等による割れを防ぎます。
- 6) これで長さ方向をパネルソーにてカットします。これで木地の完成です。
- 7) 塗装は自然塗料よりウレタン塗装の方が表面の手触り、見栄えがかなり良いと思います。表面があくまでも合板の木口面ですので、自然塗料ではザラザラ感は消しにくい。ここではウレタンを両面塗って天板完成です。

当社としては、家具として製作するよりも素材としてカウンターなどに使用して戴きたいと考えています。

カウンターサイズ 1980*950 以下のカウンター材であれば現場の寸法に合わせて受注生産いたします。



平行柄に魅力があります。
また所々の白い部分がウッドパテです。
ウレタンクリヤー塗装仕上げの状況です。
接合面に所々筋が見えますが、

荒木風仕上がりですのでご了解下さい。

***ラーチ合板です。



平行柄が面白い。短辺木口は平行柄です。



長辺木口は、ラーチ合板の柾です。
ベンチもテーブルと同じ作りです。



テーブルの脚は桧無垢材です。
これもプレカット工場の端材利用です。



このテーブルは H600 と低めです。
人を横たわらせて東洋医学の授業用です。
従って脚を太くし、つなぎ棒を付けて補強。

当然、節、多少の割れもありますが、
強度上、問題ありません。



テーブル脚：桧（端材）裏貼り：シナ合板 t5





リビングテーブル

スツール脚：桧材（端材）
裏貼り：シナ合板 t5



この平行柄に魅力の額縁です。
とても、綺麗です。



TV ポート` 試作例
平行柄がくどかった。
パーツで運んで現場組み。
大変重たい家具でした。

2 . 針葉樹合板再生家具（純粹に合板組み立て品）

a) 試作グリッド収納



中央 4 枚カンノン扉、ここに背板有り。やはり重たい。

b) 試作階段グリッド収納



現場に応じて左右勝手。
色付けオスモカラーです。

c) 試作ベッド(スノコは桐無垢)



特にヘッドボードは空目を選びました。
(2000*1000 パネルより)
この大きさの端材はあまり出てこない。

d) ロボット



天板は空を選びました。
TV 台でも、文机でもいける。

e) リビング飾り棚



空目を選んでみました。
木口の柄もデザインです。

f) 階段グリッド収納



3分割で現場(2F)にて接合。
この収納はA4対応の本棚です。
但し、窓枠があるため最下段は
小物入れです。

g) チェアー（合皮併用）



側板 t28 ラーチ合板です。
かなり丈夫です。カントリー調の
店舗などに使えますね。



W475(420)* D530(430)*
H680 (SH400)
(): 座面有効数値



ご来場者の方にモデルになって
もらいました。ちょっと堅い。
もう少しくつろげるかと思いま
す。
2008 ナイスわくわくフェアにて

h) インフォメーションスタンド（クリップ使用のノックダウン式）



我が社は、2ヶ月に1回自社の展示会を行っています。

そこで、組み立て式で、保管に場所を取らない物を考えてみました。

上部ボードと三角形2個の3ピースです。

桧合板ではじめて製作しました。

ラージと違った優しさを感じられます。

この合板が、かなり普及して来るように思えます。



背面側です。クリップ止めですのでビス等は見えません。

ラージと桧の合板の表情の違いを比べて下さい。



ラージ合板 塗装：超越ウッドコート



桧合板 塗装：超越ウッドコート



ラージ合板



桧合板

以上、あくまでもプレカット端材を再利用する目的で企画したもので、すべて特注品です。端材の在庫状況により納期が掛かることもありますので、余裕をもって見積もり、発注をして戴きたいと思います。特に桧合板は、まだまだプレカット依頼は少ないので、今後の増加に応じて対応させて下さい。

また、企画品をまとめて作れば確かに安いものはできますが、量産より、お客様のこだわりある寸法、機能、デザインに応えたいと思います。

お客様からの提案で思いがけないアイデアを戴くことも有り、そんな出会いがあるとことを期待いたします。

***営業範囲が静岡、神奈川、山梨の全県、東京の一部です。遠隔地の場合はお断りさせて頂くこともありますのでご了解下さい。

また、お見積もり、問い合わせは(株)マルダイ 家具部 鈴木まで。

TEL0545-35-3535

FAX0545-35-1188